

## 平成 21 年度春期 初級システムアドミニストレータ試験分析速報

2009,4,19 (株) アイテック 情報技術教育研究グループ

## 1. 試験全体講評

今回が最後の実施となった平成 21 年春期の初級システムアドミニストレータ試験(以下、初級シスアド)について説明します。午前の問題は、過去問題からの出題が例年どおり多く、ざっと見ただけでも 5 割程度あります。出題内容に関しては、従来からよく出題されていたものがほとんどで、新しい内容はほとんどありませんでした。初級シスアド試験はシステムを利用する立場から必要な知識が出題されるので、内容も実際の利用に関する細かいことが入ることが多く、今回もその傾向は同じです。午前問題全体を通して、適切な文章を選ぶ問題が増えていますが、前回とほぼ同じ難易度だったと思われます。

午後の問題は、最近の傾向どおり業務改善および業務分析の出題が多く、技術的な内容は 1 問だけでした。問題内容が前回に比べてやや平易な記述になっており、全体としては従来どおりの難易度といえるでしょう。

## 2. 午前試験講評

今回の試験で出題された新作問題と新傾向問題には、次のようなものがあります。

問 42 (アプリケーションシステムの変更)

問 63 (企業経営におけるコンプライアンス強化)

問 76 (デジタルデバイド) ……高度系試験では既出

今回は最後の試験のせいか、やはり新傾向の出題内容は少なかったといえます。新しい用語についても、上記新傾向問題以外ではありませんでした。

今回の午前問題を出題分野ごとに分類すると次のような出題数で、今回は、システムの構成と方式が減り、セキュリティの出題数が増えています。難易度についても、電子メールのコンテンツフィルタリング、ファイアウォールのパケットフィルタリング機能などの出題があったセキュリティ分野の問題がやや高かったと言えます。

平成 21 年春期 初級シスアド本試験 午前問題分野別出題数

分野	H21 春 出題数	H20 秋 出題数
ハードウェア	6	7
基本ソフトウェア	4	3
システムの構成と方式	4	6
システム応用	5	5
システムの開発と運用	26	25
セキュリティ	11	9
標準化	4	4
情報化と経営	20	21
合計	80	80

### 3. 午後講評

午後の問題は、最近の傾向どおり業務改善および業務分析の出題が多く、技術的な内容は問4のネットワークの運用管理とセキュリティの複合問題だけでした。

全体の難易度としては、あまり大きく変わりませんが若干易しいのではないかと思います。ネットワークの運用管理の問題は、ネットワークの環境設定を実際に行った経験がないと難しく感じますが、問題文の流れで解答できる問題になっています。また、配点の多い問5から問7の問題テーマは、今までに比べると理解しやすいもので、設問自体も難しくないといえます。

今回出題された問題ごとに内容を簡単に見ていくと次のようになります。

#### 問1 清涼飲料の消費量分析（データ分析）

データ分析に関する問題です。設問1はグラフから傾向を読み取る問題で比較的簡単に解答できます。設問2は重回帰分析というかなり難しそうな内容を思わせる出題ですが、計算式のどの部分が増えると年間消費量が増え、どの部分が減れば年間消費量が減るかに気が付けば解答でき、最後のグラフの問題も同じ考え方で選択肢から消去していけます。言葉の難しさに振り回されないように解答することが大切です。全体としては、普通の難易度と思われます。

#### 問2 グループウェアの導入方法と費用（システム環境整備と運用管理）

グループウェアを導入するためにかかる費用の計算問題です。どの機能を何人使うかに注意して解答していきます。問題文に書かれている条件を間違えないようにすれば比較的簡単に解答できる問題といえます。難易度はやや易といえます。

#### 問3 食品スーパーの売上分析（データ分析）

スーパーの売上を地域別、時間帯別、部門別に分析して、新しい店を出したときの売上金額の予測を行う問題です。設問1の内容は問題文をよく読みながら比較的簡単に解答できますが、設問2ではクロス集計表が出題されており、実際に使ったことがないと解答するのが少し難しい内容です。総合して普通の難易度の問題といえます。

#### 問4 ネットワークの運用管理（ネットワーク、セキュリティ）

前回に続いてネットワークの運用管理が出題されましたが、今回はセキュリティの内容との複合問題でした。設問1では与えられたネットワークの構成図から、スイッチングハブに接続できる機器の数や空き口数を解答します。設問2はサーバのアクセス制御に関する問題です。この問題もネットワーク環境を構築した経験がないと難しく思われますが、基本的なハブの知識があれば、問題文に書かれた説明に従って考えると、接続できる機器

の数や空き口の数に答えられます。また、アクセス制御リストも考え方の説明があるので、意味は比較的分かりやすく解答できたと思われます。総合してやや易の問題といえます。

#### 問5 レンタカーの予約システム（システムの構築）

過去に何度も出題された定番のシステム開発に関する問題です。レンタカー予約という分かりやすいテーマなので、現行システムの概要と新システムの要件から、設問1と設問2は簡単に解答できます。設問3のDFDも特に難しくありません。設問4も特にひねったところはなく、全体に易しい問題だといえます。

#### 問6 菓子メーカーの生産計画（業務改善、経営管理）

設問1では、表で与えられた菓子製品の生産数と出荷数の関係から、期限切れや売上機会損失の数を求めます。問題文で記述されている内容をよく理解していないと、表の中で隠された部分も多いので解答が少し難しいでしょう。設問2の卸売業者からの注文数、設問3の生産数算出方法の見直しの問題も、設問4も設問1と同じような出題内容の繰返しで、全体としては普通レベルの難易度の問題といえます。

#### 問7 健康増進プログラムの実施費用の試算（SQL、表計算ソフト）

健康増進プログラムの実施費用を試算する問題で、データベースのSQLに関する設問と、参加人数と実施費用を試算する表計算ソフトのワークシートについての設問に分かれています。設問1のSQLの問題では、副問合せの内容ですが、今まで出題されてきた問題に比べるとやや易しい内容といえます。また、ワークシートに入れるセルの値や計算式も絶対参照と相対参照には気を付ける必要があるものの、どちらかといえば易しい問題でした。全体としての難易度もやや易といえます。

以前、非常によく出題されていたデータベースのSQL問題や表計算ソフトの問題が、今回二つのテーマの複合問題として1問だけ出題されたことは、最後の初級シニアド試験の最後の問題として、少し感慨深いものがあります。

以上